6460

セガサミーホールディングス

（注）セガサミーグループ主要10社（セガサミーホールディングス、セガ、セガエンタテインメント、セガネットワークス、サミー、セガトイズ、トムス・エンタテインメント、サミーネットワークス、フェニックスリゾート、タイヨーエレック）のデータ

【本社】 105-0021　東京都港区東新橋1-9-2　汐留住友ビル
【TEL】 03-6215-9955
【設立】 2004.10 【上場】 2004.10 【決算期】 3月
【特色】 傘下にパチスロ大手サミー、ゲームソフトやアミューズメント機器・施設運営で大手のセガ

CSR評価

人材活用	環境	企業統治	社会性
AA	A	AA	AAA

財務評価

成長性	収益性	安全性	規模
B	A	AA	AAA

CSR全般

CSRの基本的取り組み

【活動のマテリアリティ設定】 有
セガサミーグループCSR推進方針（2012年度設定）：①事業を通じ世の中に夢と感動を与える ②社会貢献 ③環境対応 ④コーポレート・ガバナンス+経済的責任
【方針の文書化】 有
（注）「セガサミーグループCSRレポート」をWeb掲載。グループ経営理念、グループCSR憲章、グループ行動規範、グループマネジメントポリシー（2014年度制定）、CSR推進方針を公開している。またグループ内イントラネットにも常時掲載している
【活動の報告】 CSRレポートはWebにて掲載。CSRレポートダイジェスト（社員向け）を冊子にて発行し全社員に配付
【第三者の関与】 有 【英文の報告書】 有
【統合報告書】 統合レポート2015を現在制作中
【ステークホルダー・エンゲージメント】 有 内容報告：行っている
①サプライヤーミーティングを定期的に開催し意見交換（セガ） ②半期に1回、決算説明会を実施し、四半期決算に関しては、テレフォンカンファレンスを行っている。またIRフェアに参加し、個人投資家との意見交換も積極的に行っている（セガサミーホールディングス） ③各ステークホルダーと常時コミュニケーションをとり、健全かつ友好的な関係を作っている
【汚職・贈収賄防止】 方針有
セガサミーグループ行動規範に、ステークホルダーごとに分けて方針を記載。顧客：「適正な取引関係」、取引先：「公正な関係」「公平な選定」「接待・贈答」「個人利益」、株主投資家：「インサイダー取引」等
【ISO26000】 活用
【CSR部署】 （専任）グループCSR推進室（セガサミーホールディングス）
（注）傘下事業会社には兼任部署を設置している
【CSR担当役員】 兼任有（執行役員グループCSR推進室長）
【同・CSR業務比率】 半分以下
（注）担当役員の職域は、グループCSR推進室、グループ内部統制推進室、内部監査室
【NPO・NGO連携】 有（主な連携先：日本NPOセンター、ファミリーハウス、国際協力NGOセンター、シャンティ国際ボランティア協会、公益財団法人ケア・インターナショナル、公益社団法人WWF、公益社団法人企業メセナ協議会、公益社団法人日本フィランソロピー協会等）
①本業を活用した連携として例年、NPO法人日本NPOセンターを通じてセガトイズの玩具を非営利団体に寄贈並びに協働（寄贈した玩具の除菌活動を毎月行っている） ②NPO法人シャンティ国際ボランティア協会の「絵本を届ける運動」にグループ会社全体で参加 ③NPO法人GoodDayとともに、事業会社音遊の立地地域である鎌倉市由比ヶ浜海岸の清掃活動を10年連続で実施している
【CSR関連基準】 国連グローバル・コンパクト、GRIガイドライン、ISO26000、国内業界団体基準（日本アミューズメントマシン協会（理事長を、代表取締役会長兼社長が務め、業界を牽引している）、日本電動式遊技機工業協同組合（2015年6月まで理事長を代表取締役会長兼社長が務め、業界を牽引している））、国際業界団体基準（Entertainment Software Association、GamesAid）
（注）業界団体の行動基準に関しては、事業会社や国（地域）ごとに業界団体は異なるので、各社、各国ごとに加盟

ESG・SRI・CGコード

【ESG情報の開示】 開示
【機関投資家・ESG調査機関等との対話】 行っている
【SRI、エコファンド等】 ①State Street SRI World index Fund（State Street Global Advisors） ②Dimensional Global Sustainability Core Equity（Dimensional Fund Advisors） ③三菱UFJ国際投信「三菱UFJ SRIファンド」
【株主の権利・平等性の確保】 12月開示に向けて実施中
【株主以外のステークホルダーとの適切な協働】 12月開示に向けて実施中
【適切な情報開示と透明性の確保】 12月開示に向けて実施中
【取締役会等の責務】 12月開示に向けて実施中
【株主との対話】 12月開示に向けて実施中

CSR調達

【CSR調達の実施】 行っている
【調達方針、労働方針、監査方針等の基準】 開示
【CSR調達に関する調達先監査・評価】 事業内容によって子会社ごとに実施
【CSR調達の具体的な取り組み】 ①「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」をWebに開示し、取引先へ要請している ②セガ：「セガAM機器製品含有化学物質管理基準」を2014年に制定。取引会社に公開し、コンプライアンス、品質、安全性、信頼性、環境保全、情報セキュリティ、労働安全衛生に配慮した取引を実施 ③サミー：「購買外注管理規程」「取引先口座管理規程」等各種規程に従って、清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境に配慮した取引先の評価・選定を行っている。新規取引先に関しては、社長名による書面「清廉性について」を、管理職から取引先に説明を行っている
【紛争鉱物の対応】 検討中

他CSRの取り組み等

【BOPビジネスの取り組み】 行っていない
【BOPビジネスの位置づけ】 将来のビジネスチャンス
【コミュニティ投資の取り組み】 行っていない
【プロボノ支援の取り組み】 行っていない
【海外でのCSR活動】 セガヨーロッパでは、社員の拠出により総額1,180ユーロを4つの団体に寄付した。（KIDS COMPANY、THE DAVID SHELDRICK WILDLIFE TRUST、MAMOLI MISSION ORPHANAGE、英国ROYAL SURREY病院）
【CSR関連・表彰歴】
（13年度）①日経アニュアルリポートアウォード入賞（主催：日本経済新聞社、透明性のある企業情報開示を行っている企業として表彰（セガサミーホールディングス）） ②大和インベスター・リレーション・インターネットIR優秀賞（主催：大和インベスター・リレーションズ、透明性のある企業情報開示を行っている企業として表彰（セガサミーホールディングス）） ③日本おもちゃ大賞4部門優秀賞（主催：一般社団法人日本玩具協会、健常、障害に関係なく遊べる玩具などを表彰する制度（セガトイズ））
（14年度）①日経アニュアルリポートアウォード優秀賞（主催：日本経済新聞社、透明性のある企業情報開示を行っている企業として表彰（セガサミーホールディングス）） ②ゴメスIRサイト総合ランキング銀賞受賞（主催：モーニングスター、透明性のある企業情報開示を行っている企業として表彰（セガサミーホールディングス）） ③日本おもちゃ大賞3部門優秀賞・大賞（主催：一般社団法人日本玩具協会、健常、障害に関係なく遊べる玩具などを表彰する制度（セガトイズ））

ガバナンス・法令順守・内部統制

取締役

【人数】 9人 【代表者数】 2人 【女性役員】 0人
【社外取締役】 2人

監査役

【人数】 4人 【社外監査役】 3人

株主

【株式数】 266,229千株 【株主総数】 94,348人
【特定株比率】 44.5% 【浮動株比率】 12.2%
【所有者状況】 政府・地方公共団体 0.00%、金融機関 11.67%、金融商品取引業者 2.21%、他法人 11.39%、外国法人等 31.37%、個人他 43.36%

企業倫理

【方針の文書化・公開】 文書化・公開
【社員の行動規定】 有
（注）セガサミーグループCSR憲章、行動規範がグループ全体を網羅。また、2014年度「セガサミーグループ・マネジメントポリシー（方針）」として人材、環境、労働安全衛生、リスクマネジメント、IR・広報、情報管理、ITセキュリティ、個人情報保護、海外贈収賄禁止のポリシーを制定し、社員の倫理行動の強化を図っている

法令順守

【部署】 （専任）管理本部法務部とグループ内部統制室（セガサミーホールディングス）
（注）各事業会社にも、それぞれ専任部署あり

IR

【部署】 （専任）グループ代表室IR部（セガサミーホールディングス）

内部通報・告発への対応

【内部通報・告発窓口】
社内：設置済み
社外：設置済み
【通報・告発者の権利保護規定】 制定済み
【公益通報者保護法ガイドライン】 参考にしている
（注）内部通報制度：セガサミーホールディングス並びにグループ各社と社外の法律事務所に通報窓口を設置

国内・海外での法令違反等

【国内での法令等に関わる事件等】	（件数）12年度	13年度	14年度
公取など関係官庁からの排除勧告	0	0	0
不祥事などによる操業・営業停止	0	0	0
コンプライアンスに関わる事件・事故で刑事告発	0	0	0

【海外での法令違反等】	（件数）12年度	13年度	14年度
価格カルテルによる摘発	0	0	0
贈賄による摘発	0	0	0
その他の摘発	0	0	0

内部統制への取り組み

【委員会】 設置済み
【内部監査部門】 有
【内部統制の評価】 有効(2015年3月)
【CIO】 同様の役割を取締役が担っている
【CFO】 同様の役割を取締役が担っている
【情報セキュリティポリシー】 策定済み
【情報セキュリティ監査】 内部:不定期 外部:不定期
【ISMS】 無
【プライバシー・ポリシー】 制定済み
(注)グループ内部統制室が各事業会社の内部統制を統括している

リスクマネジメント等への取り組み

【体制】 有
【基本方針】 有
【対応マニュアル】 有
【責任者】 代表者に準ずる取締役
【BCM構築】 今後予定
【BCP策定】 今後予定
【BCP想定】 地震/水害/感染症大流行
【取り組み状況】 各事業会社にて、危機管理規程を策定し、事業体に合ったマネジメントを行っている。セガサミーホールディングスでは、重要事項に関し、関連部署の専門的意見を交えて網羅的なリスクチェックを行い、総合的な検討を行う。その上でグループ役員連絡会、取締役会において審議を行い、リスクや効果について検証する体制を構築。財務リスクに関しては、J-SOXの枠組みに基づき、識別、分析された不正、誤謬リスクとその対応(コントロール)の有効性についてセガサミーホールディングスグループ内部統制室が評価している

雇用・人材活用

基礎データ

【従業員】

		合計	男	女
従業員数(人)	13年度	119	104	15
	14年度	118	105	13
平均年齢(歳)	13年度	38.5	38.9	36.0
	14年度	37.9	37.8	39.6
勤続年数(年)	13年度	3.8	3.8	4.5
	14年度	3.0	2.8	4.6
平均年間給与(円)	13年度	8,907,499	14年度	8,037,325
臨時雇用者数(人)	13年度	11	14年度	14
連結従業員数(人)	13年度	7,472	14年度	7,888
外国人従業員数(人)	13年度	55	14年度	106
連結外国人従業員数(人)	13年度	1,011	14年度	1,366

(注)13年度(従業員数、平均年齢、勤続年数、平均年間給与、臨時雇用者数はセガサミーホールディングス単体データ。連結従業員数はセガサミーグループ全社データ。外国人従業員数と連結外国人従業員数は主要7社データ)/14年度(従業員数、平均年齢、勤続年数、平均年間給与、臨時雇用者数はセガサミーホールディングス単体データ。連結従業員数はセガサミーグループ全社データ。外国人従業員数と連結外国人従業員数は主要10社データ)

【年齢別】(人)

	合計	男	女
30歳未満	25	25	0
30~39歳	32	25	7
40~49歳	49	43	6
50~59歳	11	11	0
60歳以上	1	1	0

【新卒採用】

	合計	大卒計	大卒男	大卒女	短・専門	高卒・他
14年4月入社	111	91	70	21	15	5
15年4月入社	144	112	89	23	13	19

【中途採用】

	合計	大卒計	大卒男	大卒女	他男	他女
13.4~14.3	126	84	73	11	31	11
14.4~15.3	288	175	133	42	88	25

【離職者数】

	合計	早期	自己	会社	転籍	他
男	344	133	183	0	23	5
女	104	15	85	0	4	0
男女計	448	148	268	0	27	5

2014年4月~2015年3月
(注)役員就任による離職者を含む

【新卒入社者の定着状況】

	男(人)	女(人)
2012年4月新卒入社者	76	44
うち2015年4月在籍者	63	33

(注)転籍による退職者を含む

多様な人材活用

【役職登用状況】

	女(人)	男(人)	外国人(人)	女性比率(%)
管理職	59	982	4	5.7
うち部長職以上	12	274	2	4.2
役員	1	98	0	1.0
うち執行役員	1	41	0	2.4

2015年3月現在

【多様な人材登用推進の専任部署】 無
【退職した社員の再雇用制度】 無
【65歳までの雇用】 傘下事業会社によって異なる。セガサミーホールディングス、セガ、サミーは全員雇用
【LGBTへの対応】 基本方針:現時点では問題の発生がないため議題に挙がっていないが、差別をしていない
【LGBTへの取り組み】 現時点では行っていないが、差別をしていない
【推進のための基本理念】 ①セガサミーグループ行動規範に、「人種、信条、性別、年齢、障害、学歴、門地等を理由とした雇用機会や待遇の均等を損ねる行為は行わない」旨を明記 ②2014年度に新設した「セガサミーグループ人財に関する方針」に、「多様性の推進」を明記
【経営方針・トップコミットメント】 ①セガサミーグループ行動規範に、「人種、信条、性別、年齢、障害、学歴、門地等を理由とした雇用機会や待遇の均等を損ねる行為は行わない」旨を明記 ②2014年度に新設した「セガサミーグループ人財に関する方針」に、「多様性の推進」を明記

人権・労働問題

【人権尊重・差別禁止の方針】 有
【人権デューデリジェンス】 行っている
【人権尊重・差別禁止等の取り組み】 ①セガサミーグループ行動規範にて「人権の尊重」「差別の禁止」を謳い、公開、実施 ②2013年度に新設した「セガサミーグループ人財に関する方針」にて「社員の人権の尊重」「求人・雇用における差別をなくす」ことを明記し、公開、実施
【ILO中核的労働基準】 尊重している
結社の自由及び団体交渉権、強制労働の禁止、児童労働の実効的な廃止、雇用及び職業における差別の排除

障害者雇用

【障害者雇用】

	12年度	13年度	14年度
実人数(人)	115	124	156
障害者雇用率(%)	1.48	1.70	1.84

【障害者雇用率の目標】 2.0%
【特例子会社】 特例子会社設立の検討を始めている
【障害者雇用の取り組み】 ①セガは各部門に障害者職業生活相談員を配置。定期的な面談を実施し障害者個々人が働きやすい職場環境を整備。ハード面でのバックアップ体制を整備し、障害者に対する社内意識の向上にも努力 ②サミーは合同面接会参加・人材紹介会社からの紹介を通じ、採用を拡大、継続している ③フェニックスリゾートは法定雇用率を超えているがさらなる上積み雇用を目指している

人事・評価制度

【能力・業績評価基準】 公開
【能力・評価結果】 従業員本人に公開
【従業員の満足度調査】 事業内容によって子会社ごとに実施
【海外等での人事・評価制度】 海外に事業所のある会社は、事業所別で運用(セガ、セガトイズ、トムス・エンタテインメント)

ワーク・ライフ・バランス

【産児・育児】

産児休暇	産前6週間・産後8週間 健康保険組合より月収の3分の2を支給
配偶者の出産休暇制度	有(5日)
育児休業(最長)	子が1歳6カ月に達した日以降最初に到来する4月の保育所入所日まで(最大2年6カ月)

	12年度	13年度	14年度
産休取得者数(人)	40	55	59
育休・取得者数(人)	49	65	83
うち男・取得者数(人)	1	4	9
(1週間以内・取得者数(人))	1	1	5
育児休業復職率(%)	91.8	80.0	97.9

【産休・育休取得の取り組み】 産休、育休入り前後、復帰前後に面談を行い、スムーズな職場復帰を実現している。HelloBaby休暇制度:配偶者の出産休暇は、特別休暇+有給連続休暇にて最長5日間休暇可(サミー)
【看護・介護】

看護休暇(最大)	①トムス・エンタテインメント:日数は法定どおりで有給 ②セガサミーホールディングス、サミー:日数は法定どおりだが、育児休暇、看護休暇において、積み立て有給休暇を保有の場合、充当することが可
介護休暇(最大)	積み立て有給休暇を保有の場合、充当することが可(セガサミーホールディングス、サミー)
介護休業(最長)	営業日ベースで通算93日間まで取得可(セガサミーホールディングス、セガ、サミー)

	12年度	13年度	14年度
介護休業取得者数(人)	0	0	0

【3歳~就学前の子を持つ社員利用可能制度】 短時間勤務制度/始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ/所定外労働をさせない制度/育児サービス費用を補助する制度/①福利厚生サービスでの育児補助(セガサミーホールディングス、サミー) ②出張の免除(サミー)
【特筆すべき両立支援制度】 ①セガ:社員同士が情報交換できる「子育て広場掲示板」の開設、休業中も社内イントラネット閲覧を可能にし、スムーズな職場復帰を実現、高校卒業まで子ども手当を支給 ②サミー:HelloBaby休暇制度(配偶者の出産休暇は、特別休暇+有給連続休暇にて最長5日間休暇可)、育児短時間勤務制度における対象範囲を小学校3年生までに拡大、リラックス・ホリデー制度(心身のリフレッシュと健康の維持・増進と働きやすい職場環境整備のための休暇) ③セガトイズ:中学卒業まで子ども手当を支給

賃金・休暇・諸制度

【30歳平均賃金】 ―円
【残業時間】 18.7時間/月
【残業手当】 43,614円/月

【有給休暇】

	付与日数	取得日数	取得率(%)
12年度	17.2	7.5	43.7
13年度	17.3	7.8	45.3
14年度	18.2	8.5	47.0

【ボランティア休暇・休職】

		12年度	13年度	14年度
ボランティア休暇	有	93	50	40
同休職	無	—	—	—
青年海外協力隊	無	—	—	—
マッチング・ギフト	無			

(注)東日本大震災の特別措置として、震災ボランティアの参加費はセガサミーホールディングスの全額費用負担にて実施

【勤務柔軟化への諸制度】 フレックスタイム制度(事業内容に応じて、子会社ごとに導入)／短時間勤務制度(妊娠中、育児、介護における短時間勤務(最大2時間短縮)や時差勤務等)／半日単位の有給休暇制度(半日を4時間として有給休暇可能)／サテライトオフィス(ほかの事業所勤務者が滞在して働くことができるサテライトオフィスを本社に設置(セガ))／保育設備・手当(高校卒業まで子ども手当を支給(セガ)。中学卒業まで子ども手当を支給(セガトイズ))／ワークシェアリング(SKETTO制度(登録型スタッフ制度):常勤不可で、短期間・短時間勤務であれば働ける人と、業務内容をマッチングさせ(例えば外国語能力がある人を国際イベント時に雇用するなど)登録スタッフに声掛けする制度(フェニックスリゾート))／裁量労働制度(①10:00～19:00を標準時間とするが、始業、終業時刻は従業員に委ねる(セガ) ②製作部門の対象者に専門業務型裁量労働制を導入(トムス・エンタテインメント))／プランニングタイム制度(1カ月の中で計画的に1日の就業時間を弾力的に変動させる(セガ))／セレクトタイム制度(1日の就業時間を変えずに業務に合わせて始業時間をスライドさせる(セガ))

【インセンティブ向上への諸制度】 資格・技能検定の取得奨励制度(資格取得補助金、資格取得時一時金、資格保有手当、資格保持費用の会社負担等、各社にて諸制度あり)／社内公募制度(会社が必要とするポストや職種要件を社員に公開し募集(セガ、トムス・エンタテインメント)。管理職ポストの公募制度あり(フェニックスリゾート))／国内留学制度(社員の育成を目的に社会人大学に通うことができる制度あり。費用の一部を会社が負担(日本マルチメディアサービス))／特別な成果に対する表彰・報奨制度(①セガ:業績貢献した商品、個人に対し表彰金を支給・事業計画達成の有無に応じてインセンティブを支給 ②サミー:社長賞等業績に多大な貢献をした社員を表彰 ③セガトイズ:人事評価に基づく特別表彰制度 ④トムス・エンタテインメント:年1回業績貢献表彰 ⑤サミーネットワークスセガネットワース:チャレンジ賞・VP賞、年1回社長賞 ⑥フェニックスリゾート:毎月3部門の表彰者を決め、四半期ごとにリーダー賞を表彰)／キャリアアップ支援制度(セルフスキルアップ制度:専門職者に対し自己啓発にかかる費用を会社が負担(サミー)、資格取得時の費用、資格保持費用を会社が負担(フェニックスリゾート))／ストックオプション制度(都度、対象範囲を決定し付与)／持株会制度(会社より拠出金の5%を奨励金として補助(セガサミーグループ))／社員貸付金制度(生活上必要とする資金を低利貸し付け(セガ、サミー、トムス・エンタテインメント、サミーネットワークス等))／長期収入サポート制度(ケガや病気で働けなくなった際の所得補償制度(セガサミーホールディングス、サミー))

労働安全衛生

【生産部門等】 有

【労働安全衛生マネジメントシステムの構築】 有

【主な取り組み】 ①健康診断、人間ドック受診、労働安全衛生委員会、産業医面談のほか、社内イントラネットに労働安全衛生情報を掲載し共有化(セガ、サミー、トムス・エンタテインメント) ②健康専門相談窓口、看護師の常駐、健康管理センター設置(セガ) ③リラックスホリデー制度:最大3日間の連続休暇 ④ストレス診断ツールと外部カウンセリング(セガサミーホールディングス、サミー)等あり

【労働災害】

	12年度	13年度	14年度
労働災害度数率	—	—	0.50

【メンタルヘルス】

	12年度	13年度	14年度
休職者数(人)	—	—	40

【メンタルヘルスの取り組み】 ①産業医面談あり(全社) ②Webのストレス診断ツールと対応方法学習システムあり ③外部専門組織のメンタル相談窓口を設け、本人と家族による相談を年中無休で受け付けている(一部の会社)

【労働安全衛生・表彰歴】

(14年度)多様な働き方実践企業ゴールド認定(主催者:埼玉県、仕事と子育て等の両立支援をするためにさまざまな取り組みを行っている企業を県が認定する制度(サミー))

消費者・取引先対応

【対応部署】 (専任)各事業会社に設置。名称は、戦略企画開発室、カスタマーサービス部等

(注)グループ会社の顧客相談を専門に扱う傘下会社「日本マルチメディアサービス」あり。各事業会社にそれぞれ専任部署があり、日本マルチメディアサービスと連携して対応を行っている

【商品等の安全性に関する部署】 (専任)各事業会社に設置。名称は、品質保証部等

【クレーム対応】 (マニュアル)有 (DB)有

(注)体制は、事業会社各社ごとに顧客(消費者・取引先)対応部署を置いている。各社にて対応マニュアル、データベースを作成。またグループ内に、顧客相談を専門とする日本マルチメディアサービス社を設置し、顧客からの相談を一括して受け、各社と連携している

【その他の品質管理】 有

①セガ:製品安全に関し自主基準を設け、品質保証にかかわる工程管理をシステム化している。海外においては各地域に合った品質保証体制を構築している ②サミー:JIS規格を基に独自の試験項目を定め、開発段階、量産段階において評価試験を行い不良率の低減を実施。また不適合品ゼロへの取り組みを、調達先とともに行い、改善指導等行っている ③セガトイズ:ST基準を基に、独自に品質管理規定・設計仕様基準を設定している

社会貢献

組織と支出

【担当部署】 (専任)グループCSR推進室(セガサミーホールディングス)

(注)各事業会社には、兼任にて社会貢献担当部あり

【社会貢献活動支出額】 (単位:100万円)

	12年度	13年度	14年度
総額	302	482	240
うち寄付金	42	228	24
マッチング・ギフト	0	0	0
うちその他	260	211	152

(注)一部の協賛金、ボランティア活動費、海外子会社の活動費は含まず

事業事例

【地域社会参加】 ①サミー:本社の地元である豊島区社会福祉協議会と連携し高齢者にショールームを無料開放し社員と一緒に遊ぶイベントを約月1回のペースで継続。すでに200回を超える。また川越新工場建設に際し「企業市民として地域との共生を目的としての活動」を実施。一例として小江戸川越マラソン協賛と社員による給水ボランティアを実施 ②フェニックスリゾート:調理師が調理専門学校にて講師を務める。接遇スペシャリストが、県立芸術劇場等で接遇教育を行う。エンジニアが、労働基準協会からの依頼で、ボイラー実技や座学等の講師を務める。宮崎県内2市3町と包括的連携協定を締結し、地元の食材・商品等の商品造成・販売を実施等、自治体、民間を問わず、同社の持つ知識、ノウハウ、施設を、地元、宮崎市に提供し貢献している

【教育・学術支援】 セガサミーホールディングス:①傘下会社のゴルフ場のある千歳市において小・中学生を対象としたジュニアスポーツフェスティバルを開催 ②セガサミー野球部練習場がある八王子市にて野球部員が児童養護施設にて野球を教えるなどの慰問活動を実施

【文化・芸術・スポーツ】 ①セガサミーホールディングス:スポーツ活動では、セガサミー野球部による少年野球教室の実施、障害者クロスカントリー日本チーム支援、ジェフユナイテッド千葉オフィシャルスポンサー、競泳選手およびプロゴルファーのスポンサード。文化活動では、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の途上国に現地語の絵本を贈る「絵本を届ける運動」に参加。芸術活動では、国内最大級のJAZZイベント「東京JAZZ」の特別協賛を13年間継続。東京に新しい文化を根付かせている ②サミー:モーグルスキーヤーやプロゴルファーのスポンサード ③フェニックスリゾート:トライアスロンとゴルフの「オリンピックの強化施設」に認定され協力している

【国際交流参画】 セガサミーホールディングス:①世界70カ国以上で人道支援を行う「公益財団法人ケア・インターナショナルジャパン」への継続支援 ②新たな事業開発地である、韓国 釜山市海雲台区主催「砂フェスティバル」に協賛

【東日本大震災復興支援】 行っている

【復興支援の具体例】 社員ボランティアとして、被災地整備、仮設住宅居住者とのコミュニケーションなどを行っている。また、エンタテインメント企業群として被災地におけるイベントや地元の祭りへ、社員がアミューズメントゲームや玩具等を持参し、楽しみを提供している

環　境

組織と情報開示

【担当部署】 (兼任)グループCSR推進室(セガサミーホールディングス)

(注)事業会社では事業内容によって部署単位で担当している

【担当役員】 兼任有(執行役員グループCSR推進室長)

【同・環境業務比率】 半分以下

(注)執行役員の担当職域は、グループ内部統制室、グループCSR推進室、内部監査室

【方針の文書化】 有 【HP上の公開】 有

(注)グループ行動規範のほかに、2013年度新設のセガサミーグループマネジメントポリシーの「環境に関する方針」において、基本方針を定め、取り組み事項並びに説明責任を明確にしている

【環境会計】 無

パフォーマンス

【環境負荷量】

	13年度	14年度
総エネルギー投入量(GJ)	2,262,137	2,216,589
特定管理対象物質投入量(t)	0	0
水資源投入量(m^3)	1,377,158	1,075,337
温室効果ガス排出量(t-CO_2)	109,866	123,801
特定化学物質排出量・移動量(t)	0	0
廃棄物等総排出量(t)	2,574	2,466

【環境保全対策に伴う経済効果(実質効果)】 (単位:100万円)

	13年度	14年度
収益額(リサイクル等)	1	4
合計	1	4

(注)①2013年度は主要9社、2014年度は主要10社のデータを集計 ②環境負荷量は、床面積による推計値を含む ③温室効果ガス排出量の増加は電力会社排出係数の影響 ④廃棄物等総排出量は、産業廃棄物排出量 ⑤NO_x、SO_xは、フェニックスリゾートボイラーにて微量排出 ⑥環境保全対策に伴う経済効果は、サミーおよびタイヨーエレックのデータ

【スコープ3】 未集計

管理体制

【環境監査】 不定期に実施

(注)内部監査に環境項目あり。不定期だが年に1回以上実施

【EMS構築】 EMSは構築していない

環境リスクマネジメント

【事業活動での環境汚染の危険性】 可能性無
【将来発生の可能性がある巨額費用の準備】 無
【環境影響評価(アセスメント)】 現時点では行っていない
【土壌・地下水等の把握状況】 把握していない
【水問題の認識】 特にリスクではない

環境関連法令

【国内】 ①廃棄物処理法 ②省エネルギー法
【海外】 ①RoHS指令(セガ) ②REACH規則(セガ)

【環境関連法令違反等】(件数)	13年度	14年度
環境関連法令違反	無	無
環境問題を引き起こす事故・汚染	無	無
環境問題に関する苦情	無	N.A.

その他環境関連指標・取り組み

【グリーン購入】 自社独自指針にのっとって実施
(注)事業会社各社の業態状況に合わせてグリーン購入を実施。セガは、OA、PCサプライ、筆記具・ファイル等、文具事務用品。サミーはコピー用紙のみ。セガトイズは一般事務用品のグリーン購入を実施している

【事務用品等のグリーン購入】	13年度	14年度
比率(%)	89.2	55.1

対象:事務所(セガ)
(注)OA、PCサプライ、筆記具・ファイル等、文具事務用品

【原材料調達】
グリーン調達:部分的なガイドラインを定め実施
取引先対応:取引先等へ指導/取引先等の評価
具体例:①環境影響を考えグリーン調達を実施。具体的には「鉛フリーはんだ」「森林認証材の採用」等実施(サミー) ②「セガアミューズメント機器、製品含有化学物質管理基準」を2013年5月に制定し、取引先とのWebで常時公開。取引先に説明会や指導を実施(セガ)
【環境ラベリング】 特になし
【環境ビジネスの取り組み】 行っていない
【容器包装削減の取り組み】 有
①玩具包装を自社基準において運送に適した形状にしている(セガトイズ) ②リターナブル容器による納品、使用済み物流資材のリサイクル(セガ) ③ストレッチフィルム削減のための梱包用バンド利用の促進、部材、ユニット品の輸送時に通い箱を利用(サミー)
【カーボンオフセット商品等の取り組み】 行っていない

地球環境保全への取り組み

【気候変動対応の取り組み】 行っている
【再生可能エネルギーの導入】 事業会社で導入
年間100万kWhのグリーン電力証書(①マイクロ水力 ②バイオマス)システムを購入。また横浜市風力発電事業に賛同し、Y-グリーンパートナーとして協賛している(セガ)
【CO_2排出量等削減への中期計画】 有
①建物原単位において前年度比1%削減(セガ・オフィス) ②延床面積原単位において前年度比1%削減(サミー・オフィス) ③延床面積×総労働時間原単位において前年度比1%削減(サミー・工場)
【生物多様性保全への取り組み】 不明
「セガの森」:長野県佐久郡南相木村との間で、民有林3,633haを対象とした森林の里親契約を10年間締結。社員並びにグループ社員とその家族が、森林整備や自然を生かした学習イベントを行いながら、環境保全を意識し行動するよう努めている(セガおよびセガサミーグループ)

【生物多様性保全プロジェクト】(単位:100万円)	13年度	14年度
支出額	1	1

2014年度の環境目標・実績

【CO_2排出量等削減】 ①建物原単位:前年度比▲1%(セガ・オフィス)→▲23.94%(達成)/②延床面積原単位:前年度比▲1%(サミー・オフィス)原単位は原油換算エネルギー使用量により算出→+4.58%/③延床面積X総労働時間原単位:前年度比▲1%(サミー・工場)原単位は原油換算エネルギー使用量により算出→▲8.11%(達成)
【エネルギー削減】 ①運用対策・自然エネルギー利用による総量:前年度比▲8%(セガ・オフィス)→▲25.25%(達成)/②省エネ対策による総量削減(サミー・オフィス)→▲9.55%(達成)
【リサイクル】 ①(目標)回収アミューズメント機器:100%リサイクル(セガ)(達成)/②(目標)アミューズメント機器不正投棄防止のためのリサイクルシステムにて「埋め立てゼロ、単純焼却ゼロ」を実施(セガ)(達成)/③自社製品回収後リサイクル率の向上(サミー)→97.2%(達成)
【廃棄物削減】 最終廃棄物の削減(セガサミーグループ全体)→10社全体で▲4.21%(達成)
【その他具体的な取り組み】 製品・サービスにおける環境負荷削減対策:①低消費電力部品の積極的な採用(セガ、サミー)。セガにおいては、アミューズメント機器製品の省エネルギー化を年々進め、従来品より最大20%の節電効果のある製品を開発し市場に出している ②遊技機は資源有効利用促進法の対象製品で3Rに積極的に取り組んでいる(サミー) ③グループ間の部品のリユース(セガとサミー、セガとセガロジスティクスサービス)